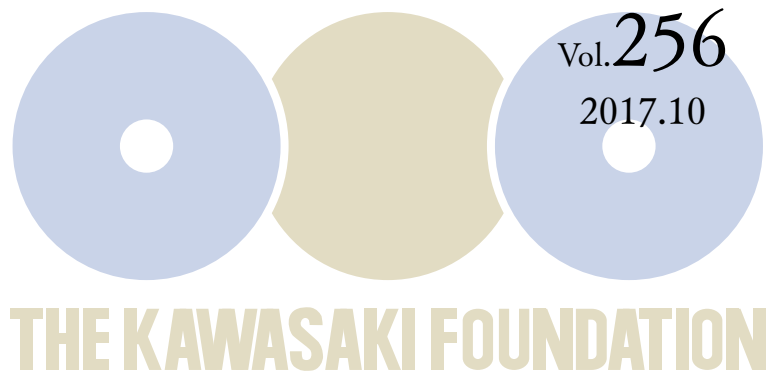


かわさき アートニュース



Vol.256
2017.10



ジャズ界のレジェンドが奏でる、
極上のサウンド

インタビュー：前田憲男さん
(ピアニスト、作・編曲家)

CONTENTS[目次]

02 | 特集

かわさきジャズ2017

04 | 音楽

ミュージア川崎シンフォニーホール

07 | 歴史・文化

東海道かわさき宿交流館

08 | イベントレビュー

09 | 演劇

ラゾーナ川崎プラザソル

10 | 美術

市内ギャラリー情報

13 | 演劇

アルテリオ小劇場

14 | 映画

アルテリオ映像館

かわさきジャズ2017
2017.11.10fri—19sun Kawasaki Jazz 2017

かわさきジャズ2017

ジャズは橋を架ける ～Jazz overcomes differences.～

Kawasaki
Jazz 2017

ジャズ界の レジェンドが奏でる、 極上のサウンド

インタビュー／前田憲男さん(ピアニスト、作・編曲家)

2015年にスタートし、今年3回目を迎えるジャズ・フェスティバル『かわさきジャズ』が、11月10日に開幕します。

昨年に引き続き、「ジャズは橋を架ける」をテーマに掲げ、「多様性」と「コラボレーション」を軸に、ジャズを通じて様々な出会いと交流の機会を創出するこのフェスティバル。10日間にわたり、川崎市内の7つの会場で国内外のトッププレイヤーによる音楽ライブを開催します。

今回は、オープニング公演に出演される日本ジャズ界の巨匠、前田憲男さんにお話を伺いました。前田さんは、ジャズピアニストとして活動する一方で、数多くの人気テレビ番組の楽曲を手掛け、半世紀以上にわたり日本の音楽業界の第一線で活躍されてきました。

80歳を超えた今も活発に活動を続ける原動力やこれまでの歴史、このフェスティバルへの意気込みについてお話をいただきました。

漫画とピアノがあった青春

——先生は若いころに漫画家を目指していたそうですね。

ピアノよりむしろ漫画のほうがメインでね、本当は漫画家になろうと思っていました。最近やっと吹っ切れたくらいで、なにかチャンスがあれば、やってみたいと考えていましたね。僕のホームページは全て自作ですが、自分で描いた自画像を掲載しています。カーソルを合わせると顔の表情が変わるんですよ。

——独学でピアノを習得されたそうですが、どのようにして音楽と出会ったのでしょうか。

うちは両親が小学校の教師をしていたのですが、二人とも音楽に興味があつてね。一応、親父もお袋も近所の子にピアノを教える程度のテクニックは持っていました。ただ、両親は僕が頼めば教えてくれるという程度で、無理矢理は教えようとしなかったですね。スタートは一般的にピアノを始める皆さんと同じでバイエルでした。でも、音楽的な素養といったらそこまで、あとは何もありません。

関西方面の米軍キャンプからのスタート

——ジャズピアニストとして活動を始めた頃についてお聞かせください。

高校の軽音楽部でジャズを知りました。卒業と同時に先輩のグループにピアニストとして参加。2年ほど関西方面の米軍キャンプを巡る仕事をつづけ、その間にヴィブraphーンをマスターしました。

20歳で上京して、最初は赤坂見附のナイトクラブ「ラテンクォーター」でピアノを弾い

ていました。当時のナイトクラブは2バンド交代で常に生演奏が流れていましたね。当時のチェンジバンドは原信夫とシャープスアンドフラッツでした。

のちに、新橋の「マヌエラ」というクラブにうつったのですが、NHKが目の前にあったので番組制作のスタッフと顔見知りになり、放送の仕事を頼まれるようになりました。音楽に関係する番組はもちろん、ドラマの仕事でもピアノを弾いたり、譜面を書いたり、レコーディングしたりと、細かい仕事がたくさんありましたね。あの頃は、各テレビ局に一癖も二癖もあるディレクターがいたのですが、僕は彼らから信頼が厚くて「こいつに任せておけば安心だから」と認めてもらっていたんです。それでだいぶん得しましたよ(笑)。

多忙を極めた テレビの音楽監督時代

——テレビ番組の楽曲を手がけていらした頃についてお聞かせください。

テレビの仕事をしていた頃は、仕事量と追っかけっこして、どうやれば譜面が早く書けるかと、色々自分で工夫してやっていました。まだパソコンがない時代でしたからね。1日25時間働いているというくらい忙しくて、日をまたがってスケジュールを入れていたんですよ。当時のスケジュール帳がまだ残っていますけれども、「よくこれで病気をしないでやってたな」と思います。

労音(勤労者音楽協議会)という組織があり、当時は大阪の支部が一番大きかったのですが、そこへ仕事に行くと2週間は拘束されました。ペギー葉山のリサイタルなら、その仕事をぶっ続けで2週間。そうすると、東京を留守にしている間に他のバンドに場

所を取られてしまいます。ですから、公演が大体18:30から始まって20:30に終わった後に伊丹空港までタクシーを飛ばして、夜中に1本だけ出ている飛行機に乗って東京へ帰り、徹夜で譜面を書いてレコーディングをして、夕方また大阪のホールへ飛行機で戻るというスケジュールをこなしていました。そういう生活をしていると、だんだん自分が今何をやっているか分からなくなってくる。でも、来た仕事を断ろうとは思わなかったですね。僕は大阪人だからね、そんなのもったいないと思っちゃう(笑)。

プレイはアレンジの源

アレンジの仕事が増え、プレイヤーと並行して活動するのが大変になったので、バンドを抜けて、アレンジャー1本になった時期があります。すると翌月の収入が、いきなり前月の10倍になりました。それまで月収4万円だったのが次の月は40万円。それから3年ほど、アレンジの仕事ばかり続けていたのですが、蓄積がなくて出て行く一方だから、だんだんアイデアが枯渇してくる。ある日、気が付いたら何も書けなくなっていました。やっぱり無駄なようだけど、毎晩どこかのクラブに行ってピアノを弾き、他のミュージシャンと交流を持たないと音楽が死んでしまう。そう思って、トリオやカルテットの演奏を少しずつ再開しました。

アレンジを救うためにプレイヤーとして活動を始めた途端、また書けるようになりました。どういう関係なのかな、毎晩ナイトクラブで演奏する内容なんて、たかが知れているんだけど、やっぱり生身のプレイヤーと一緒に演奏するってことが必要なんだろうね。



華やかな音楽シーンでの活躍

—— 当時、共演された方々とのエピソードをお聞かせください。

大橋巨泉さんはもともとジャズ評論家でしたから、ジャズマン同士のつながりもあって、彼の出演する番組の音楽をよく担当していました。

また、美空ひばりさんが演歌を歌わずに、アメリカのポピュラーミュージックを歌うというコンサートを中野サンプラザでやったことがあるのですが、音楽監督を頼まれました。デューク・エリントンや歌ったり、色んな曲をやったんだけど、彼女のファンにはあまり評判がよくなかったみたいだね。やっぱりお客さんは、「リンゴ追分」が聞けると思って来るからかな(笑)。

ベンチャーズの音楽をやって脚光をあびていた加山雄三さんの編曲も手がけました。オーケストラと共演するときなどのアレンジをしていましたね。

被災地での演奏活動

—— 東日本大震災の直後からずっと被災地でのコンサートを続けていらっしゃいますね。先生の最近のご活動についてお聞かせください。

2007年から、浜離宮朝日ホールでのコンサートを年に2回続けていて、今年21回目を迎えます。このコンサートを背景に、2011年の大震災があった直後から「わ」で奏でる東日本応援コンサート」の活動を始めました。

被災地に赴き、子どもたちや現地のビッグバンドと合奏して、共に作り上げるコンサートを続けて今年で28回を数えました。現地での演奏が7割で、東京でもコンサートを毎年行っています。僕は特別なことをする訳ではなくて、ありのままの自分を持って行くのですが、一緒に演奏すると子どもたちの空気感が全く見違えるように変わりますよ。

2015年の宮古市での公演では、渡辺真知子さんをゲストに迎え、250人がステージに乗って「カモメが翔んだ日」を合唱しました。

音楽を通じた交流

—— 今回の『かわさきジャズ』では、若いプレイヤーと共演なさいますね。ご出演いただくにあたっての抱負と、観客へのメッセージをお願いします。



やっぱり若い人と知り合いになることが一番楽しみです。今の若い連中がやっている音楽を吸収するのは、一緒にやるのが一番早いと思っています。ゲストの小林桂さんとは何回か共演していますが、どんな曲でもどんとこいですよ。

新百合ヶ丘で演奏するのは初めてですが、きっと音楽愛好家の方々がたくさん集まるコンサートになるだろうと、非常に期待しています。このフェスティバルはそういう感じがすごくするね。今から楽しみです。

—— 今回、先生には『かわさきジャズ』のプレ企画「ジャズアカデミー」の最終回(10月27日)にも講師としてご登壇いただきます。

事前に受講者から音楽に関する質問を受け付けて、それについてお答えします。ピアノを弾きながら、ミニコンサートも交えた講座にしようかと考えています。僕のホームページにも質問コーナーがあって回答を公開しているのですが、どんな面白い質問が出るか楽しみです。

ジャズは対話の音楽

—— 先生にとって音楽、ジャズとはなんでしょう？

すごく月並みな言い方だけど、普通の意味での生活の一部ですね。例えば、僕が百姓さんだったら毎日外へ出て、畑を耕しものを育てる。それと同じように音楽をやっています。

—— 最後に、ジャズの魅力についてお聞かせください。

演奏者が普通の会話と同じように音楽で話をするという形態を持っている音楽は、ジャズだけです。かけ合いをすることによって、お互いのエネルギーを吸収するみたいにイメージーションが膨らんでくるのが楽しみです。いつも演奏しています。

僕は、2034年に100歳の誕生日を迎えるのですが、今から記念コンサートを計画しています。それまでは現役で活動が続きたいですね。



公演概要

Information

Jazz Bar 前田憲男トリオ スペシャルゲスト小林 桂

11/10(金)19:00開演

会場:新百合トウェンティワン
ホール

(川崎市麻生区万福寺1-2-2)

新百合21ビル地下2F)

小田急小田原線「新百合ヶ丘」北口
徒歩2分

出演:前田憲男(p)、小林 桂(vo)
齋藤たかし(ds)、川村 竜(b)

料金:テーブル席4,500円(1ドリンク付き)
階段席3,500円

チケットお申込み:

◎かわさきジャズチケットオンライン

<http://www.kawasakijazz.jp/ticket/>

◎ミュージア川崎シンフォニーホール

電話 044-520-0200(10時~18時)



かわさきジャズ2017 ~ジャズは橋を架ける~

11/10(金)~19(日)

詳しくは公式サイトをご覧ください。

<http://www.kawasakijazz.jp/>

かわさきジャズ

検索

チケット
好評
発売中!!

プロフィール

Profile

前田憲男

Norio Maeda

[ピアニスト、作・編曲家]

1934年大阪生まれ。独学でピアノを習得して高校卒業と共にプロ入りし、55年上京。

57年から、名門バンド「ウェストライナース」に在籍。75年からの「11PM」や「ミュージック・フェア」「サウンド・イン・S」「ザッツ・ミュージック」などの人気番組の音楽監督を担当。

長年にわたりアレンジャーとして多忙を極めながらも、近年は「前田憲男とウィンドブレイカーズ」、自己のトリオ、羽田健太郎・佐藤允彦との「トリプルピアノ(2007年終了)」、全国主要オーケストラのポップスコンサートの客演指揮など、多彩な演奏活動を展開。1983年にジャズ界の最高位に値する「南里文雄賞」とレコード大賞「最優秀編曲賞」、2014年には「文化庁長官表彰」を受賞。



ミューザ川崎シンフォニーホール コンサートピックアップ

MUZAスペシャル・ナイトコンサート90

まもなく
発売10/7(土)
一般発売

ミューザが満を持してお届けする、スペシャルな編成とプログラム。
ワンドリンク付きのスペシャルシートもご用意。とっておきの夜をお過ごし下さい。

ロマンティック・ナイト

2018年1月30日(火) 19時開演

【出演】 ジャズ・ピアノ: 佐山雅弘
ヴォーカル: CHAKA
コンサートマスター: 水谷 晃
ベース: 井上陽介 ドラムス: 大坂昌彦
TSOスペシャル・ジャズ・オーケストラ
【曲目】 ビートルズ・メドレー、ラプソディ・イン・ブルー
パート・バカラック・メドレー ほか



佐山雅弘

エキサイティング・ナイト

2018年3月27日(火) 19時開演

【出演】 トランペット: 日野皓正、西尾健一
トロンボーン: 片岡雄三
アルトサックス: 多田誠司 ピアノ: 石井 彰
ベース: 金澤英明 ドラムス: 石若 駿
Dream Jazz Big Band SETAGAYA
【曲目】 イッツ・ゼア、スティル・ビー・バップ、
A列車で行こう、リル・ダーリン ほか



日野皓正

【チケット】 全席指定 ¥3,500 学生券(小学生~25歳以下の学生) ¥1,000
スペシャルシート ¥4,000(ワンドリンク付・400席限定)



ジョナサン・ノット



イエンス＝ペーター・マインツ

休日の朝に聴いてほしいモーツァルト。
オーケストラと過ごす、
特別な1時間をあなたに。

モーツァルト・マチネ31

10月14日(土) 11:00開演

全席指定 一般 ¥3,500
学生券(小学生~25歳以下の学生) ¥1,000

【出演】 指揮: ジョナサン・ノット
チェロ: イエンス＝ペーター・マインツ
【曲目】 ハイドン: チェロ協奏曲 第1番 ハ長調 Hob.VIIb:1
モーツァルト: 交響曲 第39番 変ホ長調 K.543

おすすめ
公演

ランチタイムコンサート&ナイトコンサート

能楽とオルガン、伝統の交わる瞬間

MUZAランチタイムコンサート

10月25日(水) 12:10開演 約40分間 途中休憩なし
全席自由 ¥500

MUZAナイトコンサート60

10月25日(水) 19:00開演 約60分間 途中休憩なし
SS指定席《限定100席》¥2,000 自由席 ¥1,000

【出演】 オルガン: 徳岡めぐみ
観世流シテ方: 梅若紀彰 能管: 竹市 学

【曲目】 ジャン＝ピエール・ドゥルーズ: 4つの俳句によるエヴォカシオン
J.S.バッハ/アンリ・メッスラー: シャコンヌ ニ短調 ほか



徳岡めぐみ



梅若紀彰



竹市 学

ミューザ川崎市民吹奏楽祭

10月9日(月・祝) 第1部(午前の部) 10:30開演(10:00開場) 第2部(午後の部) 14:30開演(14:00開場)

全席指定 午前・午後の部 各700円(第1部終了後全席入替) 当日券800円 ※前売りが完売した場合、当日券の販売はありません。

【お問合せ】ミューザ川崎シンフォニーホール 044-520-0200(10時~18時) [プレイガイド] チケットぴあ 0570-02-9999(9月4日~29日まで取り扱い)

お申込み・お問合せ ●ミューザ川崎シンフォニーホール [TEL] 044-520-0200(10:00~18:00) [チケットカウンター] 10:00~19:00
[Web] ミューザWebチケット <http://muza.pia.jp/>

ホールアドバイザー小川典子企画 **Noriko's Day vol.5**

小川典子ピアノ・リサイタル

Noriko Ogawa Piano Recital

デビュー30周年記念演奏会～日本と英国の架け橋～

2017. **10.21** (土) Saturday, October 21st, 2017

14:00 開演 13:00開場 Starts at 14:00 (Doors open at 13:00)

終演予定: 16:00、アンコール・コンサートの終演は17:00頃の予定

会場: ミューザ川崎シンフォニーホール (JR「川崎」駅西口直結)

Venue: MUZA Kawasaki Symphony Hall

ベートーヴェン: 英国国歌

「ゴッド・セイヴ・ザ・キング」による
7つの変奏曲 WoO 78

Beethoven: 7 Variations on "God Save the King", WoO 78

ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第23番

へ短調 作品57「熱情」

Beethoven: Piano Sonata No. 23 in f minor, Op. 57 "Appassionata"

山根明季子: イルミネイテッドベビー

(第9回浜松国際ピアノコンクール課題曲)

Akiko Yamane: Illuminated Baby

リスト: ピアノ・ソナタ 口短調

Liszt: Piano Sonata in b minor

13:15~13:40

山根明季子 & 小川典子によるプレトーク

Pre-concert talk starts at 13:15 (25mins)

ゲスト出演: 山根明季子 (作曲家)

デビューの契機となったリーズ国際コンクール入賞から30年、コンクールの出場者だった小川典子は、いま「蜜蜂と遠雷」で話題沸騰の第10回浜松国際ピアノコンクール審査委員長に就任。思いをあらたに英国国歌の旋律をテーマにしたベートーヴェンの変奏曲や、「第9回浜松国際ピアノコンクール」の第二次審査課題曲を取り上げる。ゲストは課題曲の作者、山根明季子。コンクール体験談、英国と日本の架け橋を担う小川典子の、入賞30周年記念リサイタル&対談会にご注目ください。

アンコール・コンサート

～アマチュア・ピアニストたちによる～

小川典子がハロウィーン・コスチュームでご案内!
公開レッスンを受講したアマチュアピアニストたちが
成果を披露します。

★アンコール・コンサート終了後、ホール2階のホワイエにて、
ハロウィーン懇親会を開催します。



昨年のアンコール・コンサート



昨年の懇親会

チケット料金(1ドリンク付)

★全席指定4,000円

★学生券(25歳以下の学生)1,500円 (※学生券は、ミューザのチケットカウンターと電話予約のみ)

お問合せ・お申込み

ミューザ川崎シンフォニーホール

[Tel] 044-520-0200 (10:00~18:00) [チケットカウンター] (10:00~19:00)

[Web] ミューザWebチケット <http://muza.pia.jp/>

主催: ミューザ川崎シンフォニーホール (川崎市文化財団グループ) 後援: 一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ) 助成: 文化庁 平成29年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業



音楽のまちかわさき

MUZA
KAWASAKI

SYMPHONY HALL

2017年
10月

ミューザ川崎シンフォニーホール
コンサートカレンダー
CONCERT CALENDAR

「10月の催し」

*チケット料金、残席情報等は各公演の
お問い合わせ先までお尋ねください。

1 日
13:30

ミューザ川崎ホリデーアフタヌーンコンサート2017後期

「カタリ・カタリ」中鉢 聡 テノール・リサイタル

テノール:中鉢 聡 ピアノ:藤原藍子

レオンカヴァッロ:朝の歌 / トスティ:かわい口元 / トスティ:理想のひと / ブッチーニ:星は光りぬ〜「トスカ」より / ブッチーニ:誰も寝てはならぬ〜「トゥーランドット」より 他

お問合せ:神奈川芸術協会
045-453-5080

7 土
14:00

プラチナ★シンガーズ 第2回演奏会

指揮:青木洋也 ソプラノ:澤江衣里 メゾソプラノ:高橋ちはる テノール:中嶋克彦 バリトン:加来徹 管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団
モーツァルト:レクイエム / 團伊玖磨:「筑後川」

お問合せ:プラチナ★シンガーズ事務局 03-3367-2451

8 日
15:00

共催公演

ルツェルン祝祭管弦楽団 指揮/音楽監督:リッカルド・シャイー

R.シュトラウス:交響詩「ツァラトゥストラはかく語りき」Op.30 / R.シュトラウス:交響詩「死と変容」Op.24 / R.シュトラウス:交響詩「ティル・オイレンシュピーゲルの愉快ないたずら」Op.28

お問合せ:カジモト・イープラス
0570-06-9960

9 月・祝
10:30
14:30

主催公演

ミューザ川崎市民吹奏楽祭

川崎市内の小・中・高等学校吹奏楽団、
富士通川崎吹奏楽団、NEC玉川吹奏楽団

14 土
11:00

主催公演

モーツァルト・マチネ 第31回

指揮:指揮:ジョナサン・ノット チェロ:イェンス=ペーター・マインツ 管弦楽:東京交響楽団
ハイドン:チェロ協奏曲 第1番 ハ長調 Hob.VIb:1 / モーツァルト:交響曲 第39番 変ホ長調 K.543

14 土
18:00

共催公演

セキスイハイム Presents

ウラディーミル・ユロフスキ指揮 ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団 日本ツアー2017

指揮:ウラディーミル・ユロフスキ ピアノ:辻井伸行 管弦楽:ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団

ブラームス:悲劇的序曲 / ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番[ピアノ:辻井伸行] / チャイコフスキー:交響曲第6番「悲愴」 全席完売

お問合せ:チケットスペース 03-3234-9999

15 日
13:30

サファリオークストラ 第24回 定期演奏会

指揮:前澤均(元NHK交響楽団第一ヴァイオリン奏者) 管弦楽:サファリオークストラ
ブラームス:ハイドンの主題による変奏曲 Op.56a / シューマン:交響曲 第4番ニ短調 Op.120 他

お問合せ:サファリオークストラコンサート事務局 070-3252-1431

21 土
14:00

主催公演

ホールアドバイザー小川典子企画

Noriko's Day Vol.5 小川典子ピアノ・リサイタル デビュー 30周年記念演奏会 ~日本と英国の架け橋~

ピアノ:小川典子 ゲスト出演:山根明季子

ベートーヴェン:英国国歌「ゴッド・セイヴ・ザ・キング」による7つの変奏曲 WoO 78 / ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第23番 へ短調 作品57「熱情」
山根明季子:イルミネイテッドベイベー(第9回浜松国際ピアノコンクール課題曲) / リスト:ピアノ・ソナタ ロ短調

22 日
14:00

主催公演

ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団

名曲全集 第130回

指揮:ジョナサン・ノット オルガン:石丸由佳 ピアノ:児玉 桃

シェーンベルク:管弦楽のための変奏曲 作品31 / ラフマニノフ:パガニーニの主題による狂詩曲 イ短調 作品43 / ラヴェル:ボレロ 他

25 水
12:10

主催公演

JFE Presents

MUZAランチタイムコンサート10月

能楽とオルガン、伝統の交わる瞬間

オルガン:徳岡めぐみ 観世流シテ方:梅若紀彰 能管:竹市 学

ジャン=ピエール・ドゥルーズ:4つの俳句によるエヴォカシオン / J.S.バッハ:アンリ・メッスラー:シャコンヌ ニ短調 他

19:00

JFE Presents

MUZAナイトコンサート60

能楽とオルガン、伝統の交わる瞬間

オルガン:徳岡めぐみ 観世流シテ方:梅若紀彰 能管:竹市 学

ジャン=ピエール・ドゥルーズ:4つの俳句によるエヴォカシオン / J.S.バッハ:アンリ・メッスラー:シャコンヌ ニ短調 他

28 土
14:00

東京交響楽団 川崎定期演奏会 第63回

指揮:ダニエル・ビャルナソン ヴァイオリン:神尾真由子 管弦楽:東京交響楽団

ビャルナソン:プロウ・ブライト(日本初演) / ショスタコーヴィチ:ヴァイオリン協奏曲 第1番 イ短調 作品77 / リムスキー=コルサコフ:交響組曲「シェエラザード」作品35

お問合せ:TOKYO SYMPHONY
チケットセンター 044-520-1511

29 日
14:00

ブラスの祭典 ~シエナ BEST コンサート

指揮:田中祐子 吹奏楽:シエナ・ウィンド・オーケストラ

1部《THE刑事》より / ルパン三世'80 / スパイ大作戦 他 / 2部 吹奏楽のための第1組曲(ホルスト) / 風紋(保科 洋) / エルザの大聖堂への入場(ワーグナー) 他

お問合せ:チケットスペース 03-3234-9999

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

お問い合わせ:ミューザ川崎シンフォニーホールチケットセンター

Tel.044-520-0200 (10:00-18:00)

ミューザ川崎シンフォニーホール

川崎市幸区大宮町1310 JR川崎駅西口直結





東海道かわさき宿交流館

TOKAIDO KAWASAKI SHUKU KORYUKAN



休館日：毎週月曜日。月曜が祝日の場合は、翌日が休館。

第60回 川崎市観光写真コンクール入賞作品 「撮った! 川崎の見どころ」展

伝統行事やイベント・四季折々の自然風景・工業夜景など、川崎の魅力をぜひご覧ください。

日時：10月1日(日)～22日(日) 9時～17時

料金：無料

会場：東海道かわさき宿交流館3階 企画展示室

最優秀賞

市川禎宏「光と戯れる」

※写真は、第60回作品です



江戸時代の粋に遊ぶ その28 「水芸」

初代松旭斎天勝より今に受け継がれる優美で艶やかな水のたわむれ。洗練された芸を是非目の前で堪能ください。

日時：10月21日(土) 14時～15時半(13時半開場)

料金：1,500円

定員：先着80名(自由席)

出演：松旭斎正恵(しょうきょくさい まさえ) 他3名

会場：東海道かわさき宿交流館4階 集会室



松旭斎正恵 プロフィール

日本奇術協会名誉会長・松旭斎広子(黄綬褒章受章)と初代松旭斎天勝一座の後見長・山崎金之助の愛娘として生まれ、幼少の頃は二代目松旭斎天勝一座の子役として活躍。青春時代は日活映画社ダンシングチームに所属し映画・舞台等に活躍。昭和43年に松旭斎広子グランドマジックショー一行に帰属し、世界を一世風靡した松旭斎天勝の芸道を継承し、日本独自の奇術・和妻の保存、育成、伝承をし、昭和47年に日本の奇術界にデビューし芸術祭優秀賞受賞に輝いた。そして、現在に至る。

展示－宿場時代の川崎(2階)

江戸時代の川崎宿の歴史や当時の情報があります。
旅人の衣装を着て記念撮影もできます。



展示－江戸から現代へ(3階)

明治以降の川崎市の歴史や、ゆかりの人物などの展示があります。



貸館案内 4階の集会室は、ふれあいネット(川崎市公共施設利用予約システム)にて利用予約が必要です。

〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4

TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314

<http://www.kawasakishuku.jp/>

【アクセス】京急川崎駅より徒歩4分、

JR川崎駅東口より徒歩9分



『フェスタサマーミュージザKAWASAKI 2017 閉幕！』

今年13回目を迎えた真夏の音楽祭「フェスタサマーミュージザKAWASAKI」。7月22日から8月11日までの21日間、日替わりで首都圏のプロオーケストラが登場し、計21公演を行いました。バラエティ豊かなラインナップが揃い、完売公演が続出。期間中は子どもたちが身近に音楽に親しめるイベントも開催され、過去最高の総入場者数、約34,000人を迎えて賑やかに幕を閉じました。(7月22日～8月11日 ミューザ川崎シンフォニーホール)

東京交響楽団 オープニングコンサート

オープニングを飾ったのは、川崎市のフランチャイズオーケストラである東京交響楽団と、同団の音楽監督ジョナサン・ノット。前半は、小編成でシェーンベルクの「浄められた夜」が美しく繊細に奏でられました。後半は打って変わって、ストラヴィンスキーの「春の祭典」が大編成の迫力あるサウンドで演奏されました。曲が終わった瞬間、歓声とともに拍手が鳴り響き、華やかな音楽祭の幕開けとなりました。



東京都交響楽団

近年、人気が高まっている若手指揮者でチェコ出身のヤクブ・フルシャが、スメタナの「我が祖国」を披露。有名な「モルダウ」を含む6曲を、故郷の風景がよみがえるかのように鮮やかに描き出し、圧巻の演奏を繰り広げました。終演後、オーケストラ全員が退場しても鳴りやまない拍手に応え、指揮者が再登場して観客の歓声にこたえました。



東京フィルハーモニー交響楽団

世界的指揮者であるチョン・ミョンフンが贈る、オールベートーヴェンプログラム。前半は、ピアニストの清水和音さんが登場し、ピアノ協奏曲第3番で美しい音色を奏でました。後半は交響曲第3番「英雄」が勇壮に奏でられ、貫禄のある圧倒的な演奏で観客を魅了しました。



サマーナイト・ジャズ

オルガニストのルドルフ・ルッツさんとジャズピアニストの佐山雅弘さんのアドリブ合戦が楽しい人気企画が今年も実現。

開演前にはホワイエでお二人による特別ミニコンサートが開催され、大勢の人だかりができました。前半は、バッハ作品が特別なアレンジと、自由自在な即興で演奏されました。後半はパーカッションのはたけやま裕さんも加わって、伝説の名ベーシスト、ジャコ・パストリアスのメドレーが熱く繰り広げられました。



神奈川フィルハーモニー管弦楽団

新百合ヶ丘で行った出張公演は、「名手の競演」と銘打った3つの協奏曲のプログラム。スイスの歌劇場管弦楽団でコンサートマスターをつとめる岡崎慶輔さん、今最も注目を集めているサクソプレイヤー上野耕平さん、人気・実力ともに日本を代表するピアニスト仲道郁代さんが、それぞれ素晴らしい演奏を披露しました。



イツ・ア・ピアノワールド

ピアニストの小川典子さんによる、子どものためのコンサート。前半と後半で二つのグループに分けて、幼稚園から中学生までの大ぜいの子どもたちがステージに上がって、ピアノの演奏を間近に鑑賞しました。小さな子どもたちも真剣に演奏に聞き入っており、演奏後に設けられた質問コーナーではたくさん手が挙がって、可愛らしい質問を投げかけていました。



東京交響楽団 フィナーレコンサート

最終日はオールラフマニノフプログラム。前半は話題沸騰のピアニスト、反田恭平さんが登場し、ピアノ協奏曲第3番でため息が出るほどの超絶技巧を披露しました。後半は桂冠指揮者である秋山和慶さんが、交響曲第2番でドラマチックな演奏を繰り広げました。満席の会場は大変盛り上がり、フィナーレにふさわしい締めくくりとなりました。



『川崎市アートセンター 夏休みワークショップフェスティバル』

川崎市アートセンターでは、毎年夏休みに演劇と映像を体験できるワークショップを行っています。人気の企画で、小学生だけでなく、大人が参加できるプログラムもあります。今年は合計6つのワークショップを開催し、ここでしか出来ない体験をしていただきました。

キノーラワークショップ

「キノーラワークショップ」は今年で3回目をむかえた夏の大人気の講座の一つ。対象は小学生です。講師はアニメーターの大高那由子さん。パラパラマンガを機械仕掛けでまわして動画を楽しむことのできる視覚玩具を「キノーラ」といいます。映画の原理ともいえるかたちです。2時間半のなかでキノーラの組み立てと8枚の画を完成させます。画を少しずつ変化させて描き、くるくる回して動きを楽しむことができます。参加した子どもからは「描くのは疲れたけど楽しい」と声が届きました。(7月26日、7月27日 アルテリオ映像館)



シアターのびのびワークショップ

ミュージカルワークショップ(以下WS)とことばのWSを行いました。ミュージカルWSは約40名の小学生が6日間、〈身近にあふれるミュージカル?!〉をテーマに最終日の発表に向け作品創りにチャレンジ。台本は構成・演出・振付の福島桂子氏が書き下ろしたものをベースに、子どもたちも一部創作し、朝起きてから海に冒険に出るまでのわくわくしたストーリーに仕上がりました。参加者全員いきいきと歌・ダンス・お芝居に取り組むことができました。ことばのWSは、子どもから大人までの約40名が2日間〈音の日本語を感じよう〉をテーマに、読むとは・語るとは・話すとはということに向き合いました。工藤直子の詩集「のはらうた」の一部をテキストに、ことばの持つ意味を考えながら、動きや歌をつけ、最後には発表を行いました。異年齢と一緒に参加することで、年齢の枠を越えての交流もできた貴重なWSとなりました。(8月1日～6日、8月10日～13日 アルテリオ小劇場)



『パンクドランカー』

俺たちは人生「パンクドランカー」だからな。

脚本 緑慎一郎(演劇プロデュース『螺旋階段』)
演出 笹浦暢大(もじゃもじゃ頭)



活動期間は約三年。表舞台にはほとんど出てこなかったパンクバンド「パンチドランカー」。若いままに突っ走り若いままに解散した。三十歳を過ぎてそれぞれ別の道で歩んでいたが全員が集まり出す。誰が仕組んだのか再結成をしたいと言い出すのだが…。2015年、KAAT神奈川芸術劇場〈大スタジオ〉で初演し、高い満足度で大絶賛をあげた伝説の公演『パンクドランカー』がこの秋、ラゾーナ川崎プラザソルにパワーアップして復活します。あきらめた夢、果たせなかった約束があるすべてのひとに。この秋、熱い熱い想いがあふれる瞬間をお届けします。

【日程】2017年10月20日(金)~28日(土)

20(金)	21(土)	22(日)	23(月)	24(火)	25(水)	26(木)	27(金)	28(土)
	■ 15:30	■ 13:00	■ 14:00				■ 14:00	■ 13:00
■ 19:30	■ 19:00	■ 18:30	■ 19:30	■ 19:30	■ 19:30	■ 19:30	■ 19:30	■ 18:30

ダブルキャスト ■黒組 ■白組 ※出演者の詳細は公演ホームページでご確認ください。

【会場】ラゾーナ川崎プラザソル(JR川崎駅西口直結ラゾーナ川崎プラザ5階)

【チケット】日時指定・自由席 一般 3,800円 川崎割 3,500円(市内在住・在勤/要証明)
大学生・専門学校生 2,800円(要学生証) 高校生以下 2,000円(要学生証)

※当日券は各500円UP ※未就学児入場不可

【チケット取扱・問合せ】

「パンクドランカー」公演ホームページ <https://punkdrunker.com/>

ラゾーナ川崎プラザソル 窓口(10:00~20:00) TEL 044-874-8501 E-mail kikaku@plazasol.jp

主催●芸術によるまちづくり・かわさき2017実行委員会/川崎市 共催●公益財団法人川崎市文化財団/川崎インキュベーター
助成●平成29年度文化庁 文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業



日本とキルギス友好チャリティーコンサート

～キルギスの全盲歌手、グルムさんの澄んだ歌声を～

2016年3月の日本テレビ「のど自慢THEワールド」でキルギスのグルムさんは「涙そうそう」を歌い、審査員全員満点の400点で優勝しました。同年9月にふれあいプラザかわさきでチャリティーコンサートを開催し、今年も引き続き、同会場で開催します。作曲家の浅野佑悠輝さんのギター演奏との共演もお楽しみください。

【日時】10月15日(日)13時開演(12時30分開場) 【料金】無料

【会場】ふれあいプラザかわさき2階ホール

(川崎市川崎区堤根34-15 ふれあいプラザかわさき内)
(京浜急行線八丁駅駅徒歩5分・JR川崎駅徒歩15分)

【曲目】愛燦々、時の流れに身をまかせ、草原の鍵、キルギスの民族曲 ほか

問い合わせ先●キヤル基金事務局 090-9643-7156

主催●キヤル基金 共催●川崎市視覚障害者情報文化センター(アイeyeセンター)

後援●在日キルギス共和国大使館



アートガーデンかわさき・市内ギャラリー・美術館等の展覧会情報

- 掲載情報は原則入場無料です。ただし、有料マークのある施設は入場料が必要な催し物の情報が含まれています。
- 各施設とも、催し物の内容・会期・料金等が変更になる場合がございますので、ご確認の上ご来館ください。 □=休館日

Event Calendar

2017.10

		1 Sun	2 Mon	3 Tue	4 Wed	5 Thu	6 Fri	7 Sat	8 Sun	9 Mon	10 Tue	11 Wed	12 Thu	13 Fri	14 Sat	15 Sun	16 Mon	17 Tue	18 Wed	19 Thu	20 Fri	21 Sat	22 Sun	23 Mon	24 Tue	25 Wed	26 Thu	27 Fri	28 Sat	29 Sun	30 Mon	31 Tue
アートガーデンかわさき〈川崎区〉 川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL.200-1415 【休館日】毎週月曜日	第1展示室				宮竹真澄の人形工房 10月4日(水)～8日(日)						藤田観 龍 個展 10月10日(火)～15日(日)				第20回 日本油彩創作美術協会展・ 田村誠遺作展 10月17日(火)～22日(日)										第88回 川崎美術協会展 10月24日(火)～29日(日)			羽田フォトクラブ 水曜会 写真展 10月31日(火)～11月5日(日)				
	第2展示室	第14回 清舟書展 ～10月1日(日)			押し花サロン シンフォニー 15周年記念作品展 10月4日(水)～8日(日)					きらめきア－ト2017展 10月10日(火)～15日(日)																	日本冶金工業OB会 第7回美術展 10月31日(火)～11月5日(日)					
	第3展示室									第2回 平野 幸一郎個展 10月10日(火)～15日(日)																						
幸市民館市民ギャラリー〈幸区〉 幸区戸手本町1-11-2(幸文化センター内) TEL. 541-3910 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)								第37回幸区民祭 10月7日(土)・8日(日)					静友会書道展 10月13日(金)～18日(水)※16日休館						みゆき水彩作品展 10月20日(金)～25日(水)													
ミュージザ川崎シンフォニーホール 4F企画展示室〈幸区〉 幸区大宮町1310 TEL.520-0300 【休館日】10月23日																										アトリエ「Kadan」押し花展 10月25日(水)～29日(日)						
中原市民館市民ギャラリー〈中原区〉 中原区新丸子東3-1100-12 パークシティ武蔵小杉ミッドスカイトワー1、2階 TEL. 433-7773 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		小杉陶芸研究会 作陶展 ～10月4日(水)				ひまわり写真クラブ 第15回ひまわり写真展 10月6日(金)～11日(水)					第5回大人の絵画造形教室 TOY BOX作品展 10月13日(金)～18日(水)※16日休館						矢向ボビンレース研究会 糸あそび 10月20日(金)～24日(火)									第49回中原区文化祭 10月28日(土)～11月1日(水)						
ギャラリー柯(えだ)〈中原区〉 中原区本月3-35-1 元住吉アートフラッツ1F TEL. 422-0515 【休館日】第2・第4月曜日							第16回 柯の会展(書・陶芸・水墨画・絵画・刻字) 併催／吉田東霞書陶展 10月10日(火)～15日(日)																									
川崎市市民ミュージアム〈中原区〉 中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL. 754-4500 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館) 9月19日(火)、10月10日(火)、11月24日(金)	企画展	 生命の表現力 山下清とその仲間たちの作品展(2F 企画展示室1) ～10月1日(日) 観覧料:一般700円、65歳以上・大学生・高校生500円、中学生 以下無料																														
		 ハイチアート展(2F 企画展示室2) ～11月26日(日) 観覧料:一般300円、65歳以上・大学生・高校生200円、中学生 以下無料																														
	アート ギャラリー	川崎ヒストリー展(2Fアートギャラリー1) ～12月3日(日)																														
		国産アニメーション誕生100周年記念展示 にっぽんアニメーション ことはじめ ～「動く漫画」のパイオニアたち～(2F アートギャラリー2・3) ～12月3日(日)																														
高津市民館市民ギャラリー〈高津区〉 高津区溝口1-4-1 ノクティ2(12F) TEL. 814-7603 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		高津みずえ会水彩画展 10月1日(日)～4日(水)			まひまひ写真部水中写真展 10月6日(金)～11日(水)				高津区美術公募展'17 10月13日(金)～18日(水)※16日休館				川崎デッサン会作品展 10月20日(金)～25日(水)				歩楽里写真部写真展 10月27日(金)～11月1日(水)															
宮前市民館市民ギャラリー〈宮前区〉 宮前区宮前平2-20-4 TEL. 888-3911 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		〈円空仏彫刻の会〉作品展 ～10月4日(水)			色えんぴつ画のつどい作品展 10月6日(金)～11日(水)				みやまえ読書の日 本とおはなしの一週間 10月13日(金)～18日(水)※16日休館				みやまえ 子育てフェスタ2017 10月21日(土)				宮前みずえ会作品展 10月27日(金)～11月1日(水)															
多摩市民館市民ギャラリー〈多摩区〉 多摩区登戸1775-1(多摩区総合庁舎内) TEL. 935-3333 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		青空会写真展 ～10月4日(水)			イチゴ・アート・フェスタ 絵画・工芸作品展 10月6日(金)～11日(水)				地域活動支援センターアトリエ 言の葉 kotonoha展 10月13日(金)～18日(水)※16日休館				翠風会 翠風墨画展 10月20日(金)～25日(水)				多摩区老人クラブ連合会 「趣味の作品展」 10月27日(金)～11月1日(水)															
川崎市岡本太郎美術館〈多摩区〉 多摩区枳形7-1-5 TEL.900-9898 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館) 9月19日(火)、10月10日(火) 10月23日(月)～11月2日(木)	企画展	 企画展「岡本太郎と遊ぶ」展 ～10月15日(日) 観覧料:一般900円、高校・大学生・65歳以上700円、中学生以下無料																														
	常設展	 常設展「岡本太郎と巴里」展 観覧料:～10月15日(日)／一般900円、高校・大学生・65歳以上700円、中学生以下無料※企画展と常設展のセット料金です。 10月17日(火)～22日(日)／一般 50 0円、高校・大学生・65歳以上300円、中学生以下無料																														
麻生市民館市民ギャラリー〈麻生区〉 麻生区万福寺1-5-2 TEL. 951-1300 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		植物画同好会 麻生・多摩ボタニカルアート展 ～10月4日(水)			第35回あさお区民まつり 10月6日(金)～11日(水)				青の会・山口台作品展 10月13日(金)～18日(水)※16日休館				麻生文化協会文化祭 美術工芸展 10月20日(金)～25日(水)				第5回美術クラブ色波会作品展 10月27日(金)～30日(月)															

(注)会期、時間等は各団体により、変更になることがありますので、ご確認の上ご来場ください。

川崎市市民ミュージアム〈中原区〉

企画展／開催中～11月26日(日)

ハイチアート展

- 会場：2F企画展示室2
- 観覧料：一般300円(240円)、65歳以上・大学生・高校生200円(160円)、中学生以下無料
- ※()内は20名以上の団体料金です。

カリブ海の島国ハイチの画家たちは、野生動物や精霊、日常生活の光景や幻想的な風景などを、明るく華やかな色彩で自由奔放に描き出します。本展では、明るく、楽しい、エネルギー溢れるハイチ絵画の数々を紹介しします。



ジャン・クロード・ボレル
《花の中のおうむ》

特集展示／開催中～12月3日(日)

観覧料：無料

国産アニメーション誕生100周年記念展示 にっぽんアニメーションことはじめ ～「動く漫画」のパイオニアたち～

- 会場：2F アートギャラリー2・3

国産初のアニメーション映画『凸坊新畫帖 芋助猪狩の巻』(1917年)の公開から100年を迎えたことを記念し、当時アニメーションの制作に挑んだ4人の先駆者を紹介します。



下川凹天『銀座はうつり』
『東京パック』(18巻1号)1929年

川崎ヒストリー展

- 会場：2Fアートギャラリー1

昭和の川崎について、川崎駅前のジオラマや地図、ニュース映画を中心にご紹介します。



1963年頃の川崎駅前を再現したジオラマ

映画上映／10～11月の特集

■「にっぽんアニメーションことはじめ」展連携上映 《スクリーンに蘇る!アニメーション傑作選》

- 料金：1プログラムにつき 一般600円／65歳以上・大学生・高校生500円／小中学生400円 (未就学児、障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者無料)
- ★のトークショー・講演会は無料

- 2本立て ①パンダコパンダ②パンダコパンダ 雨ふりサーカス
10月14日(土)11:30、10月15日(日)14:00、
10月21日(土)11:30

- コマ撮りアニメーション短編集《岡本忠成と川本喜八郎》
10月14日(土)14:00、10月15日(日)11:30

- 2本立て ①くもとちゅうりっぷ②桃太郎 海の神兵
10月21日(土)14:00★、10月22日(日)11:30、
11月11日(土)11:30

- ★21日(土)14:00の回上映後、15:40～トークショー
ゲスト：水戸遼平氏(株式会社IMAGICA)

- 初期短編集《蘇ったアニメーション》

「蘇ったフィルムたち～東京国立近代美術館フィルムセンター復元作品特集」より
10月22日(日)14:00 ※6作品上映(合計約39分)

《弁士+伴奏つき上映 3作品》弁士：片岡一郎／ピアノ伴奏：上屋安由美
『なまくら刀』(塙四内名刀之巻)／『浦島太郎』／『漫画 癡取り』

《音声つき上映 3作品》
『黒ニャゴ』／『茶目子の一白』／『幽霊船(YUUREISEN)』

★上映後15:00～講演会「アニメーション史を訪ねた男、100年を語る」
ゲスト：山口且朝氏(アニメーション研究家)

聞き手：原口正宏氏(アニメーション研究家)

■ 紫式部 源氏物語 10月28日(土)11:30、11月12日(日)11:30

■ カミイの剣 10月28日(土)14:00、11月26日(日)14:00

■ 銀河鉄道の夜

10月29日(日)11:30、11月12日(日)14:00★、11月18日(土)11:30

★11月12日(日)14:00の回上映後、16:00～トークショー

ゲスト：杉井ギサブロー監督／聞き手：原口正宏氏(アニメーション研究家)

■ 幻魔大戦 10月29日(日)14:00、11月19日(日)14:00、11月25日(土)14:00

■ 少年ケニヤ 11月11日(土)14:00、11月19日(日)11:30

■ 千年女優 11月18日(土)14:00、11月25日(土)11:30、11月26日(日)11:30



©TMS

中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL. 754-4500 FAX. 754-4533

【アクセス】武蔵小杉駅北口バス約10分、清の口駅南口側バス約20分

【開館時間】9:30～17:00(入館16:30まで)

【休館日】月曜日(9月18日、10月9日を除く)、

9月19日(火)、10月10日(火)、11月24日(金)

http://www.kawasaki-museum.jp/

● ホームページ、Twitter、Facebook、Instagramにて情報発信中!



川崎市岡本太郎美術館〈多摩区〉

10月23日(月)～11月2日(木)は展示替えのため休館

常設展／開催中～10月22日(日)

「岡本太郎と巴里」展

岡本太郎は1930年から1940年まで過ごしたパリで、世界中から集まった芸術家たちに採られながら、独自の個性を確立しました。そのため、秘書であり養女となった岡本敏子は、「岡本太郎は、戦前のパリで『岡本太郎』になった」と述べています。

本展では東京とはちがった、パリでの「岡本太郎」をご紹介します。



岡本太郎《森の庭》1950年

展覧会料金等

2017年7月15日(土)～10月15日(日)まで

一般900(720)円、高校・大学生・65歳以上700(560)円、中学生以下無料

※企画展と常設展のセット料金

2017年10月17日(火)～10月22日(日)までは常設展のみ開催

一般500(400)円、高校・大学生・65歳以上300(240)円、中学生以下無料

※()は20名以上の団体料金

企画展／開催中～10月15日(日)

「岡本太郎と遊ぶ」展

岡本太郎は「遊び」について、『遊び』と『お遊び』とは全然違う。『遊び』は真剣な、全人間的な、つまり命のすべてをぶつけての無償の行為だ。』と言っています。

岡本にとって「遊び」とは、自分自身の芸術活動そのものだったともいえるでしょう。岡本が命のすべてをぶつけて生み出した作品と、その作品に向き合う私たちも、真剣に遊んでみませんか。

本展では、岡本の作品を紹介するとともに、「字は絵だろ」と言った岡本が自由な感性で描いた「遊ぶ字」をご紹介します。



アトリエの底にて

展覧会料金等

料金：一般900(720)円、高校・大学生・65歳以上700(560)円、中学生以下無料

()は20名以上の団体料金

休館日：月曜日(9月18日、10月9日を除く)、9月19日(火)、10月10日(火)

◆関連イベント

◎ことばで遊ぶ+トーク

展覧会のワークショップで生み出された詩・漫画について、詩人の田中庸介と漫画家の横山裕一が語ります。

● 日時：10月1日(日) 14:00～16:00

● 定員：70名 ● 場所：ガイダンスホール

● 料金：無料 ● 申し込み：不要。当日先着順

◆会期中毎日開催!

◎「さわって遊ぶ」「おと・リズムで遊ぶ」「ことばで遊ぶ」 「仮面で遊ぶ」「おいで遊ぶ」「遊ぶ字に挑戦!」

会場内に、太郎さんの作品と関連した体験コーナーを常設しています。会期中毎日、どなたでもご参加いただけます。

● 場所：企画展示室

● 料金：無料(要観覧料)

● 申し込み：不要

● 開館時間中随時体験できます。



多摩区枳形7-1-5 TEL.900-9898 FAX.900-9966

【アクセス】小田急線向ヶ丘遊園駅南口徒歩17分、北口バス約10分

専修大学前下車徒歩6分

【開館時間】9:30～17:00(入館16:30まで)

【休館日】月曜日(9月18日、10月9日を除く)、9月19日(火)、10月10日(火)

10月23日(月)～11月2日(木)

http://www.taromuseum.jp

● ホームページ、
Facebookにて
情報発信中



アルテリオ小劇場

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-1
TEL.044-955-0107 FAX.044-959-2200
http://kawasaki-ac.jp/
【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分



川崎市アートセンター開館10周年記念事業

しんゆりシアターミュージカル公演 ねこはしる

原作：工藤直子(童話屋刊) 脚本・演出：ふじたあさや 音楽：西村勝行

ここには、歌があり、ダンスがあり、ドラマがあり、タップもあり、
そして笑いも、涙もあり、何よりも「いのちのちがやき」がある！

きみたち、『のはらうた』って知ってるよね。工藤直子さんが書いた詩集で、詩の作者は人間じゃない生きものたちという、ほのぼのと楽しい本だ。その、のはらの生きものたちが大活躍するもう一冊の本が『ねこはしる』で、だから、『のはらうた』と同じようにほのぼのと楽しいのかと思うと、これがおおちがいの。どうおおちがいののか、それはきみたちに、その目と耳で確かめてもらうとして……(ハンカチだけは持ってきたほうがいいよ)。

しんゆりに、川崎市アートセンターが生まれて10年。それを記念して、同じしんゆりの昭和音楽大学で生まれたミュージカル『ねこはしる』を、最高の出演者、スタッフの力を集めて、観てもらおうと思っています。そして言いたい、日本にもこんなミュージカルがあるんだぜ、と。

脚本・演出 ふじたあさや



画：平島 毅

2017年10月14日(土)～22日(日)

	14(土)	15(日)	16(月)	17(火)	18(水)	19(木)	20(金)	21(土)	22(日)
13:00			休演			休演		●	
14:00		●			●				●
17:00	●							●	
19:00				●			●		

【出演者】王子菜摘子、太田有美、小山雲母、笠松はる、片山千穂、勝山 優、川島由美、
※五十音順 神田恭兵、鈴木英恵、中島史香、中野亮輔、中村つむぎ、藤咲みどり、
古舘一也、森山蓉子、矢鳴優花、横山由和(ゲスト)
(演奏)鮎川江梨(Bs)、桑原裕子(EI)、古川真理(Vn)、やまだはるな(Dr)、山田由起子(Pf)



昭和音楽大学ミュージカル「ねこはしる」 2011年4月公演より

【チケット】一般 3,800円／中・高・大学生 2,500円／小学生以下 1,000円(全席指定・税込)

第55回川崎市アートセンター

しんゆり寄席

川崎市アートセンター開館10周年を記念し、しんゆり寄席の世話人の一人、桂米多朗の師匠・桂米助をゲストに迎え一席設けます！俗曲も加わり、いつも以上に豪華なラインナップをお楽しみください！

2017年10月28日(土) 14:00開演

※開場は開演の30分前

【出演者】桂 米助、三遊亭小円歌、
初音家左橋、桂米多朗 ほか

【チケット】一般2,000円／学生1,000円(全席自由・税込) ※未就学児童のご入場はご遠慮下さい。



桂 米助



三遊亭小円歌



初音家左橋



桂米多朗

★大旦那衆セット、プレミアムセット★

年間10回開催する「しんゆり寄席」で、いつでもご利用頂けるセット券。一人でも、何人一緒でもご利用可。

●プレミアムセット：4枚1組 6,000円 ●大旦那衆セット：10枚1組 12,000円※有効期限は2018年3月公演まで。払い戻し不可。

チケット取扱い：川崎市アートセンター

[tel] 044-959-2255(9:00～19:30、土日祝・原則毎月第二月曜除く) [WEB] http://kawasaki-ac.jp/th/

[窓口] 9:00～19:30(原則毎月第二月曜除く)

●しんゆり寄席の学生券は窓口のみ取扱い。要学生証提示。またセット券は窓口とお電話のみ取扱い。



Photo by MARY CYRILLUS ©2016 Intel Inc. All Rights Reserved

PATERSON

パターソン

JIM JARMUSCH INTERVIEW

ジム・ジャームッシュ監督インタビュー

『パターソン』は、ひっそりとした物語で、主人公たちにドラマチックな緊張らしき出来事は一切ない。物語の構造はシンプルであり、彼らの人生における7日間を追うだけだ。ディテールやバリエーション、日々のやりとりで内在する詩を賛美し、ダークでやたらとドラマチックな映画、あるいはアクション志向の作品に対する一種の解毒剤となることを意図している。本作品は、ただ過ぎ去っていくのを眺める映画である。例えば、忘れ去られた小さな街で機械式ゴンドラのように移動する公共バスの車窓から見える景色のように。

ABOUT THE FILM

作品について

2016年|アメリカ|カラー|1h58
監督・脚本：ジム・ジャームッシュ
出演：アダム・ドライバー、ゴルシフテ・ファラハニ、永瀬正敏

9.30-10.20

ニュージャージー州パターソンに住むバス運転手のパターソンの日々は一見変わりのない毎日だが、詩を愛する彼にとっては些細な物事が美しく、まばゆいものに見える。ユニークな人々との交流や思いがけない出会いなど、ユーモアと優しさに溢れた彼の7日間を描く。詩人ウィリアム・カーロス・ウィリアムズから着想を得たジム・ジャームッシュ監督4年ぶりの最新作。

(宣伝用プレスシートより抜粋。校正・文責＝川崎市アートセンター 協力＝ロングライド)



パッション・フラメンコ

2016年 | スペイン | カラー | 1h35
監督：ラファ・モレス、ペペ・アンドレウ
出演：サラ・パラス、ティム・リース、ホセ・セラノ

9.30-10.13

現代フラメンコ界最高のダンサー、サラ・パラス。彼女と舞踏団が2014年から15年にかけて開催した『ボセス フラメンコ組曲』の誕生から世界ツアーのゴールまでに密着したドキュメンタリー。様々な苦悩を抱えながらも、フラメンコに昇華させてゆくパラスの情熱的な人生に迫る。

ジム・ジャームッシュ監督作品連続上映

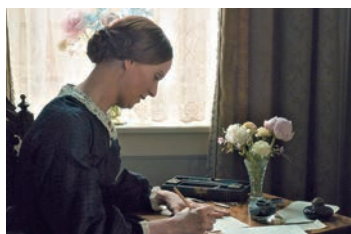


ギミー・デンジャー

2016年 | アメリカ | カラー | 1h48
監督：ジム・ジャームッシュ
出演：イギー・ポップ、ロン・アシュトン、スコット・アシュトン

10.7-10.13

粹にとらわれぬ音楽性と過激なステージングで唯一無二のスタイルを生み出し、後世の名だたるバンドに影響を与えた伝説のバンド、ザ・ストーン・ジャズ。ヴォーカルのイギー・ポップを軸に、当事者たちの言葉で明かされる華々しくも混乱に満ちたバンドの軌跡を、イギー自らの指名でバンドの熱烈なファンでもあるジャームッシュが監督。

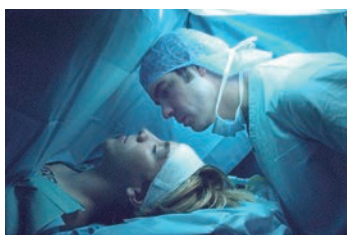


静かなる情熱 エミリー・ディキンソン

2016年 | イギリス、ベルギー | カラー | 2h05
監督：テレンス・デイヴィス
出演：シンシア・ニクソン、ジェニファー・イーリー

10.14-10.27

1886年、マサチューセッツ州の小さな町で1800篇近くに及ぶ詩稿が発見される。作者はエミリー・ディキンソン。無名のうちに亡くなったが、今や、世界の多くの芸術家に影響を与えているアメリカを代表する女性詩人、エミリー・ディキンソンのペールに包まれた半生を描く。



あさがくるまえに

2016年 | フランス、ベルギー | カラー | 1h44
監督・脚本：カテル・キレヴェレ
出演：タハール・ラヒム、エマニュエル・セニエ、アンヌ・ドルヴァル

10.7-10.13

ル・アーブルでサーフィンの帰りに交通事故に巻きこまれ、脳死と判定されたシモン。パリで自分の心臓が末期の症状であるが、他人から贈られた命によって延命することの意味を自問自答する音楽家のクレール。心臓移植を前に葛藤するドナーの家族や恋人、医師たちをフランス映画界期待の新鋭カテル・キレヴェレが描く。



わたしたち

2015年 | 韓国 | カラー | 1h34
監督・脚本：ユン・ガウン 企画：イ・チャンドン
出演：チェ・スイン、ソル・ヘイン、イ・ソヨン

10.14-10.27

いつもひとりぼっちの少女ソンは、終業式の日に転校生ジアと出会い、ふたりの間には次第に友情が芽生え始める。しかし、新学期になりふたりの関係に変化がおこる…。人生で初めて経験する友情、裏切り、嫉妬、すべての感情に戸惑い葛藤する子どもたちの姿を生き生きと映し出す。



セザンヌと過ごした時間

2016年 | フランス | カラー | 1h54
監督・脚本：ダニエル・トンプソン
出演：ギヨーム・ガリエンス、ギヨーム・カネ

10.14-10.27

近代絵画の父と称される、ポール・セザンヌと文豪エミール・ゾラは少年時代に出会った。南仏エクス＝アン＝プロヴァンスと芸術の都、パリを舞台に、名画と小説に隠された40年にわたる、共に支え高め合ったふたりの激しくも美しい友情を描く。



もうろうをいきる

2017年 | 日本 | カラー | 1h31
監督：西原孝至
音楽：柳下美恵

10.7-10.13

目が見えず、耳が聞こえず、指で触れあうことで世界とつながっている盲ろうの人々を全国各地に訪ね、地域で支えあいながら暮らしている彼らの日常の中から、人とのつながりについて思いを馳せたドキュメンタリー。不安を抱えながらも手探りで新しい一歩を踏み出そうとしている人々の姿を、柔らかな眼差しで見つめる。

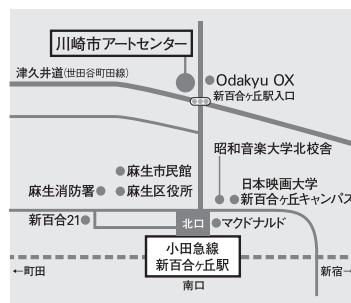


50年後のボクたちは

2016年 | ドイツ | カラー | 1h33
監督・共同脚本：ファティ・アキン
出演：トリスラン・ゲーベル、アナンド・パトリック・チョロンバートル

10.14-10.27

クラスのみだし者のマイクと風変わりな転校生チックは窮屈な生活から飛び出すべく、夏休みに無断で借用したオンボロ車に乗って南へ走り出す。14歳のふたりの無鉄砲なひと夏の冒険を描いた疾走感と切なさいっぱいのロードムービー。名匠ファティ・アキン監督が大ベストセラー小説を実写映画化。



川崎市アートセンター

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺 6-7-1
Tel. 044-955-0107 Fax. 044-959-2200
info@kawasaki-ac.jp
http://kawasaki-ac.jp/

小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分

◆映画のチケットは9:00より受付にて販売
◆自由席、整理番号順入場、立見不可



毎月

第三火曜日
のお楽しみ
2017

ラゾーナ寄席

第64回

2017年

10月17日(火) 17:30受付開始/18:00開場/18:30開演

※当日券は18:00から販売します

■会 場…ラゾーナ川崎プラザソル

〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F

■出 演…柳家小団治・初音家左橋・柳家喬の字・桃月庵はまぐり

■入場料…全席自由2,000円・25歳以下1,000円

(終演後のおたのしみ“交流会”…希望者のみ・参加費1,500円)

■予約・お問合せ／ラゾーナ川崎プラザソル

電話 044-874-8501 FAX 044-520-9151

E-mail: info@plazasol.jp http://www.plazasol.jp



柳家小団治

人間の悲しさ、おかしさ、愚かしさ。
狂言の哲学がここにある。

狂言全集

第9回



「土筆」撮影:吉越 研

日時 2017年10月21日(土)
14:00開演(13:30開場)

会場 川崎能楽堂 料金 3,000円(全席指定)

■チケット発売 平成29年9月20日(水)午前9時より川崎能楽堂窓口にて販売(先着順)
*残券があれば、同日正午より電話でも販売いたします。

■チケット取扱・お問合せ 川崎能楽堂 TEL:044-222-7995 川崎市川崎区日進町1-37

■受付時間 窓口・電話 9:00~17:00*但し初日のみ電話受付は正午から。窓口完売の際は電話での受付はいたしません。

◎主催／(公財)川崎市文化財団 川崎市川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL:044-222-8821/FAX:044-222-8817

*開演後はご入場いただけない場合がございます。また、出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。なお、ご購入いただいたチケットのキャンセルや変更はできません。

「末^{すえ}と^と土^ど筆^{ひつ}」 山本東次郎(人間国宝)
「彌^{やま}宜^{ふし}山伏」 山本 則俊
狂言のお話 山本 則重

公益財団法人 川崎市文化財団

かわさきアートニュースの制作には、川崎市文化振興基金が活用されています。

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1(リパーク3F)
TEL:044(222)8821(代表) FAX:044(222)8817
http://www.kbz.or.jp
平成29年10月1日発行

川崎市文化財団

検索

●印刷・製本／八幡印刷(株) TEL:044-542-2311